



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 500部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報委員会



地域がん公開講座

梅の花が香る、令和6年3月9日（土）午後、萩市総合福祉センター多目的ホールにて、約4年振りとなる地域がん公開講座「ここまで進んだがん診療」を開催致しました。

当院主催による公開講座も8回目を迎えることができ、これも地域の皆様方のご理解とご協力のお蔭と深く感謝申し上げます。また、当日は、3月といえども肌寒い中、200名もの方々が会場に足をお運びくださいましたこと、心より御礼申し上げます。

講演会は、まず、都志見病院院長 山本達人医師による話題提供「がん診療の進歩 薬物療法～手術療法」と題して講演がありました。がんに関する情報提供や薬物療法、手術療法を中心としたがん診療について説明を致しました。



山口大学大学院医学系研究科
泌尿器科学講座教授

白石 晃司先生

次に、特別講演と致しまして、山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座教授白石晃司先生にお越しいただき「ロボット支援下手術の現状」についてご講演を頂きました。白石先生は山口大学医学部附属病院低侵襲手術センターのセンター長も兼任されており、その立場からロボット支援下手術の重要性や今後の課題等を大変わかりやすくご解説下さいました。また泌尿器科系のがんについても詳しく説明をいただきました。講演終了後の質疑応答では、参加された市民の方々から積極的に質問がされ、がん診療に対する関心の高さがうかがえました。

今、がんは2人に1人が罹る病気です。まさに「がんと共に生きる」時代が到来しています。当院では今後も地域がん公開講座を開催して参ります。次回も是非ご期待ください。



特別講演
「ロボット支援下手術の現状」




 **新入
医局員紹介**



**外科
西尾 侑祐 医師**

4月に入局された先生にインタビューしました。

- ①趣味は？
- ②尊敬する先生とその理由
- ③医師になろうと思ったきっかけは？
- ④もし医師になっていなければ・・・？



- ① ゴルフ
- ② 野口英世先生
『誰よりも三倍、四倍勉強するもの、それが天才だ』という言葉に感銘を受けました。
- ③ 代々、医師の家系に生まれ、幼い頃から医師という職業は身近にありました。
- ④ 弁護士になっていたと思います。

退任医師のお知らせ
木原ひまわり医師（外科）・小畑裕一医師（外科）が3月31日付けで退職いたしました。

よろしくお願ひします



令和6年度 新入職員紹介

今年度の新入職員です!! 皆さん、よろしくお願ひいたします。



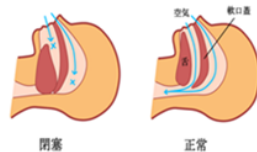
後列左から：福田正悟、刀禰成美、中谷侑由、原田美穂、好永杏夏、片山梢、渡邊稔朗
前列左から：金子智美、金谷萌叶、未成由梨香、西尾侑祐、茅原優、安永勝信、高光有玖

※ 撮影時のみマスクを外しております

《睡眠時無呼吸症候群 (SAS) について》

検査室 波多野千尋
(日本睡眠学会専門検査技師)

睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea syndrome : SAS) とは、睡眠中に10秒以上の無呼吸 (息がとまる) や低呼吸 (呼吸が浅くなる) が、1時間あたり5回以上 (AHI \geq 5) ある状態をいいます。それによって、質の良い睡眠が取れず、日中の強い眠気や疲労感など、日常生活に様々な障害をひきおこす病気です。



SASの症状



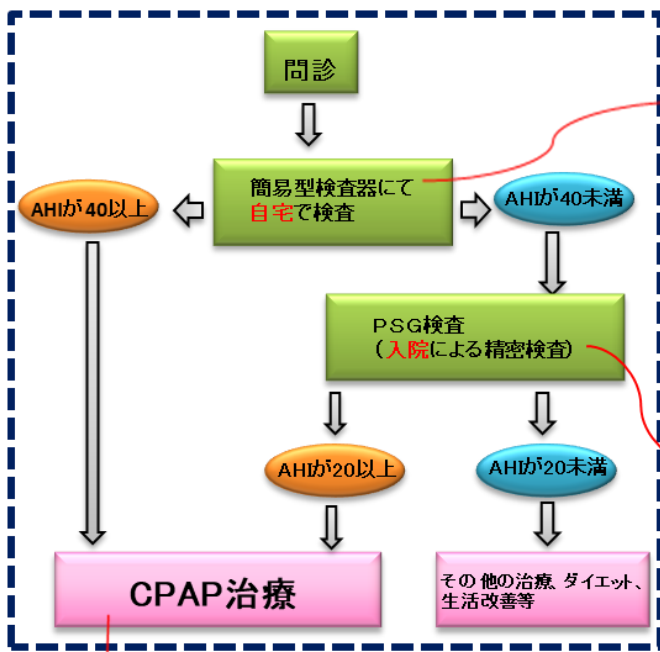
- ・ひどいいびき
- ・睡眠中に息が止まっているといわれる
- ・息が苦しくて目が覚める
- ・日中の強い眠気
- ・起床時の倦怠感や頭痛
- ・夜間何度もトイレに起きる
- ・集中力・記憶力の低下

SASの影響

- 日中の過度の眠気、仕事の効率の低下、イライラなど QOL (生活の質) の低下や、居眠り運転の多発など社会的問題も起こっています。
- SASは生活習慣病とも密接に関係しており、高血圧、心臓病、脳血管障害、糖尿病などの合併リスクが高まります。



当院では、SASの検査や治療を行っております。



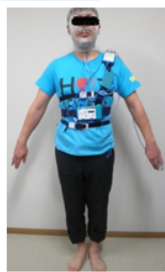
簡易検査

- ・自宅での測定
- ・<測定するもの>
 - ・呼吸気流
 - ・SpO2 (酸素飽和度)
 - ・いびき (気管音)



精密検査

- ・一泊入院
- ・<測定するもの>
 - ・脳波
 - ・呼吸 (口・鼻の気流)
 - ・顎筋電図
 - ・眼電図
 - ・いびき (気管音)
 - ・SpO2 (血中酸素飽和度)
 - ・体位
 - ・脚筋電図



CPAP治療

装置からホース・マスクを介して空気を気道へ送り、常に圧力をかけて空気の通り道が塞がれないようにします。



★検査をご希望の場合は、主治医または内科へご相談ください★



看護部の新人研修報告



2023年度は、コロナ禍前の新人研修の内容となりました。また、当院の新人看護師のみが対象でしたが、1年間の研修を紹介します。頑張りましたね。指導を担当された先輩たち、お疲れ様でした。これからも、ずっと力を合わせて行きましょう。

教育委員 新人担当より



4月：注射の技術



5月：記録について、経管栄養法・口腔ケア



6月：シリンジポンプ・輸液ポンプの取り扱い



7月：個人情報の取り扱い
入院時の対応



8月：感染予防・滅菌消毒方法



9月：救急法



10月：多重業務を
解決しよう



11月：医療安全



12月：急変時の対応



1月：死亡時の看護



産婦人科外来からのお知らせ・お願い



令和6年4月より産婦人科の宗医師が常勤から非常勤へ変更いたします。
外来診療および婦人科健診につきましては以下の通りとさせていただきます。



火曜日	14:30~16:30
水曜日	9:00~11:30

◆ご予約方法

婦人科外来	①都志見病院代表（0838-22-2811）にお電話していただき、「婦人科受診の予約です」とお伝えください。 ②お名前・産婦人科受診歴・連絡先をお聞きいたします。 ③こちらから折り返しご連絡いたします。 ※折り返しのご連絡に日数を要する場合がございます。
婦人科健診	都志見病院健診室（0838-22-3090）にお電話ください。 予約受付時間は10:30~15:00まで

なお、**婦人科外来および婦人科健診はどちらも完全予約制**となりますので、**必ず事前にご予約**をいただきますようお願いいたします。

当院では今後産科または妊婦検診は行いません。また、産婦人科受診歴のない方はお断りさせていただきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。



No.24

誤嚥性肺炎とは？

寒かった冬もようやく落ち着き、春の季節もようやく濃くなりました。花見や宴会など食事の場面も多く、いつまでも楽しく食べたい、誤嚥して体調を崩したくない、と誰もが思うのではないのでしょうか。そこで今回は誤嚥性肺炎について詳しくお話していこうと思います。

誤嚥性肺炎は食べ物や液体が気管へ入ることで生じる肺炎を指し、令和元年から3年間で肺炎にて医療機関を受診した人の内、約80%が85歳以上でした。また、図.1のように、誤嚥性肺炎で入院する患者の割合が、年齢に比例して増えています。(紫グラフ) 症状は図.2を参考にしてください。食事で咳が出ないから大丈夫、と思いませんか？免疫力が弱く、咳が出なくても誤嚥することがあります。対応するためには、日頃からの予防が大切です。

予防のためには ①食べ物・飲み物の工夫、②口を清潔にする、③飲み込む力をつける、の3つが挙げられます。①は食べ物を刻んだり、水分にトロミをつけると誤嚥しにくくなります。②は歯磨きや舌磨きで、口の中の細菌が減ります。③は「嚥下体操」で検索すると様々な方法が紹介されています。お困りごとがありましたらハビリテーション部をお尋ねください。

引用 図.1 治療学 vol.42 no.11 2008 寺本信嗣 診断と治療2
誤嚥はどう診断してどう治療に生かすかー疫学を含めて
図.2 誤嚥性肺炎 | パナソニック健康保険組合 松下記念病院 (panasonic.com)

図.1

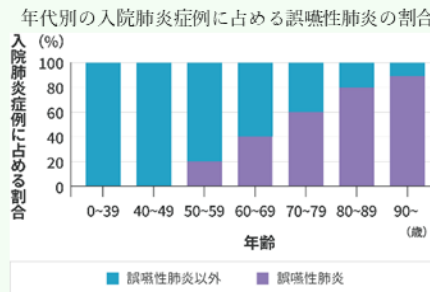


図.2

